

うめのか 梅の香

11
2008.4.10



うめのか
梅の香

安心 信頼 やすらぎ

事業内容

特別養護老人ホーム梅の香 定員50名
(小規模生活単位型指定介護老人福祉施設)
短期入所生活介護 定員10名
(ショートステイ)

E-mail umenoka@themis.ocn.ne.jp
U R L <http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/>

社会福祉法人 南相馬福祉会
特別養護老人ホーム
福島県南相馬市小高区小高字金谷前81番地
〒979-2102 TEL(0244)44-1600
FAX(0244)44-1601

編集
発行

風薫り 花が咲く



新年度にあたって

井戸川 徳 義

平成二十年度は、社会福祉法人南相馬福祉会が、昨年迎えた創立十周年の区切りの年から次のステップに飛躍する節目の年であります。

当施設「梅の香」も開設五年目の年を迎えるところとなりました。この間、多くの皆様を支えられ、育てて頂いたお陰と心から感謝を申し上げますと共に「やすらぎの中に共に歩む幸せづくり」の運営目標達成に向け、更なる創意・工夫の必要性を感ずるところです。

さて、本年四月から新しい医療制度として「後期高齢者医療制度」が始まりました。また、来年度には介護保険制度も新たな見直し・改正が行われる見込みであります。国の厳しい財政状況、看護師不足や配置医不足による医療機関との連携、介護現場の人材流出・確保難など課題が山積している状況にあります。しかしながら、介護保険サービスの理念である「ご利用者の尊厳」を尊重する基本を忘れず、一人一人のニーズを尊重しながら住んで良かったと言える環境づくりに励むことを肝に命じ、今後も職員一同更に知識・技術の研鑽に励み、サービスの質の向上に努めてまいりますので、重なるお力添えをお願い申し上げます。

ひなまつり

きびしい寒さが遠のき、春の香りも感じられる様になった3月3日、雛祭り会を開催しました。福浦小学校の生徒さんを迎え、合唱や鼓笛の合奏、水戸黄門の劇などを力いっぱい披露していただきました。

合唱や合奏では、一緒に口ずさんだり手拍子をしたり、劇では皆さん目をまん丸に見入っている姿も見受けられました。出し物が終わり、各ユニットへ戻り昼食には、ちらし寿司や

お煮しめがふるまわれました。口にはおぼった利用者さんからは「今日はすばらしい日だなあ」と喜びの声がかかれました。

「桃の節句」にぴったりな、桃の花びらのような素敵なお顔をみることできたひな祭り会となりました。



節分



雪も多く寒い日が続く中、梅の香では、悪鬼や厄神を追い払い、福を招く豆まきを2月3日に行いました。鬼に扮した職員が大鼓を叩き暴れ回ると、「鬼は外、福は内」と元気な掛け声で、鬼にめがけて豆を撒いていました。鬼もあまりの迫力にたじたじ、「どっちが鬼だか…」と言ったとか、言わなかったとか。

昼食は手巻き寿司やマグロ丼を食べました。普段はなかなか食べない手巻き寿司を利用者様と職員で巻いて食べ、「美味しい」との声が聞かれ職員も嬉しくなりました。

毎年恒例の豆まきは、利用者さまはもちろん、職員も楽しみにしている行事なので、1年の健康を願い豆を撒いたり、ぶつけられたり、毎年続けて行きたいです。

雪も多く寒い日が続く中、梅の香では、悪鬼や厄神を追い払い、福を招く豆まきを2月3日に行いました。鬼に扮した職員が大鼓を叩き暴れ回ると、「鬼は外、福は内」と元気な掛け声で、鬼にめがけて豆を撒いていました。鬼もあまりの迫力にたじたじ、「どっちが鬼だか…」と言ったとか、言わなかったとか。



こんにちは!!

梅の香1丁目

桃の節句も過ぎ、空の色もますます春らしく感じられるこの頃です。

先日行った今年最後の鍋の日は、ちよっと工夫を凝らした豆乳鍋。

利用者様が野菜を切ったり、材料を鍋に入れ、「早く煮えないかなあ」と楽しんで取り組んでくださいました。

普段の食事とは違って、見た目も味も格別で、利用者の箸も進み、笑顔が多いひと時となりました。

一丁目の皆様は普通の食事を摂るのが困難な方が殆んどですが、季節の行事や毎月のおやつ作り等で、食べる雰囲気を感じて頂けたらと思います。このような行事を一緒に行う事によって、これからは笑顔のあふれる時間を作っていきたいです。



ユニット

梅の香4丁目

穏やかな日和に花々が咲き、春の美空にはツバメが弧を描いています。そんな便りがここにも届くようになりました。

年始めに小高神社へ初詣に行かれた四丁目のみなさん。思い思いにお祈りをされ、二〇〇八年を新たな気持ちでスタートされたようでした。

さて、四丁目の毎日は、高齢にもかかわらず「おい」と元気に大声を出して職員を呼ぶ方や「ちよっとそこまで行つてくる」と自由に車椅子を走らせる方。「ここは気持ちいいな」とのんびり日向ぼっこをする方等、個性豊かなみなさんが過ごされています。

これからも、利用者の方が自分らしく生き生きとした時間を過ごすユニットにしていきたいと思えます。



1月行事

今年の干支は十二子の初めのねずみ年…日の光もいつも以上に清々しく感じる年明けでした。

1月1日は恒例の神楽奉納。「今年も神楽の季節になったな」と喜び顔で、みなさん手を合わせ、新年が神楽と共に訪れました。

1月4日、梅の香広場での餅つき会。

「よーいしょ!よーいしょ!」息の合った掛け声で、杵を持つ手にも力が入ります。「お父さんそんな搗き方じゃ駄目だ。こうやるんだよ」ご夫婦で参加された利用者の方の会話に会場の空気も一層和みます。

また、今年は餅花作りに挑戦しました。初めて作るという人や、「懐かしい」と言いながら作る人もいて、皆で協力して楽しみながら作りました。

そして数回に分けての初詣。今年は、小高神社と三島神社にお参りに行きました。三島神社では、甘酒のお振舞を有難く頂いてきました。感極まったのか、涙ぐむ利用者の方の姿も見られました。

それぞれの思いと共に始まった今年も、たくさんの笑顔で埋め尽くせる様な1年であって欲しいと願っています。



職員紹介



北原 茂利

3月よりお世話になっております。利用者様が安心して過ごせるよう日々努力してきたいと思ひます。宜しくお願ひいたします。



行徳 真理子

利用者の皆様が安心して快適に過ごせるように、いつでも笑顔で頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。



川井 テル子

早く職場に慣れ、利用者様、職員さんと毎日笑顔で過ごせ



泉田 和久代

特別養護老人ホームという施設での仕事は初めてなので、戸惑いが続く毎日ですが、早く慣れてお役に立てるよう頑張つて行きたいと思つています。どうぞよろしくお願ひします。



佐藤 きよ子

先ず驚きますことは、職員の方々が本当に若い...というところで。そして利用者の方との関係も上手にかかわつていらつしやる事にも感心させられてしまいました。ゆつくりと慣れながら皆さんに追いつきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

るように努めます。よろしくお願ひ致します。

医務室より

ストレスをためない生活を送りましょう

新生活を迎えるこの時期はストレスをためやすくなつてしまいます。ストレスの感じ方には、個人差があり他人からみれば嬉しいと思われることでも本人にとっては重荷でストレスと感ずることもあります。また、自分ではストレスを自覚しなくても体や心に負担がかかっていることもあります。

《ストレスをためない生活》

*がんばりすぎない

がんばりすぎないことが大切です。休んだ後に遅れを取り戻そうと考へたりせず、気持ちに余裕をもたせましょう。

*自分への負担を軽くする

何でも自分ひとりでやろうとすると、ストレスがたまります。他の人に相談して手伝ってもらいなるべく負担を軽くしましょう。

*環境が変化する時は十分に休養を

生活に変化があつたときは、休養をとったり家族や友人と話す時間を作つたりするよう心がけましょう。

*マイペースな生活を

他人がどのように思っているかなどを気にしすぎず、マイペースな生活を心がけましょう。

寄贈

- 横川 徳明様 (小高区) ご寄付
- 須田 時次様 (原町区) ティッシュ
- 渡辺 光男様 (小高区) バスタオル
- 佐山 徹様 (小高区) じゃがいも
- 岩井 勝様 (小高区) みかん他
- 今野 勇様 (原町区) みかん他
- 松岡 朝子様 (小高区) みかん
- 徳野 静香様 (小高区) タオル他
- 高平 孝太郎様 (原町区) 野菜
- 岡和田 とき子様 (小高区)
- 小高赤十字奉仕団様 (小高区) ビデオテープ
- 福浦婦人会様 (小高区) タオル



事務室からのお知らせ

休日の利用料金等の支払対応日は次のとおりです。平日来られない方は、左記の日をご利用ください。

■休日支払対応予定日

- 4月19日(土)、20日(日)
- 5月17日(土)、18日(日)
- 6月21日(土)、22日(日)

■時間

午前8時30分から午後5時30分まで利用者様の通帳への入金依頼も受付いたします。

※日程は変更となる場合もありますので、詳しくはお問合せください。

編集後記

年が変わつて早くも四ヶ月が過ぎました。梅の香りが広がると、またすぐに桜の花が咲いて、季節の移ろいを感じます。春という季節は、終わりと始まりを告げる季節です。当事業所も四月を向かえ職員顔ぶれも少し変わりました。4月から新しいメンバーになりましたが、ご家族・利用者の皆様に対する思いは同じなので新人職員、そして巣立つていった職員にも応援よろしくお願ひします。これからもたくさんの思い出をこの「広報梅の香」に綴つて行きたいと思ひます。

